

『現象と秩序』創刊の辞

『現象と秩序』編集委員会

新雑誌として、『現象と秩序』を創刊します。

本誌の概要と特徴は、下記の6点です。

- ① WEB上のオンラインジャーナルであると同時に、紙版の通常の雑誌でもあるハイブリッド雑誌です。
- ② 速報性と易読性と高品質さの3つの性質を満たすべく工夫をします。すなわち、新着論文は、審査が終わったあと、まずWEB版で頁未定で公開されます（速報性）。次いで、年に1～2回の紙版の発行時に、頁が付けられ製本されて、図書館等に送られます（易読性）。最後に、紙版と同じ頁が付けられたPDFファイルが、論文ごとに整理された形でインターネット上に公開されます。この最終版では、カラーの図や写真は、そのままカラーで掲載されますので、「高品質さ」が担保されます。
- ③ 査読論文と非査読論文の両方を掲載します。
- ④ 4万字程度の長いものも、5千字程度の短いものも載せます。
- ⑤ 研究者の執筆作品も、学部学生等の非研究者の執筆作品も両方載せます。
- ⑥ フィールドワークを基盤とした学際的作品を積極的に掲載します。

本誌の目的は、日本の人文科学・社会科学の振興ですが、とりわけ、フィールドワークを基盤とした学際的作品を積極的に掲載していく方針です。フィールドワークを基盤とした作品には、長大になってしまうものと、ぎゃくに、かなり短く断章的になってしまうものの両方がありますが、その両方を、形式の枠に押し込まずに、掲載していきたく思っております。

日本国内に人文科学・社会科学の学会機関誌や同人誌はたくさんありますが、上記の本誌の特徴の全てを兼ね備えた雑誌は珍しいと思われまふ。したがって、本誌には本誌だけが達成できるシナジー効果（相乗効果）があると信じています。その効果を出すべく、毎号工夫をして、さまざまな種類の原稿を合わせて載せていくことができればよいと思っております。

実際、創刊号の第一論文は、徳島大学総合科学部の学生の卒業論文であり、第二論文は、科研費に基づく共著論文です。また第三論文と第四論文は、ともに調査を元にしたオリジナル論文（但し、第三論文は、既発表論文の改訂版）です。すでに本号から多様性は十分に発揮できているように思われます。

投稿規定・執筆要領は次頁以下に記載の通りです。投稿希望のある方は、原稿ファイルを添えて、電子メールで編集委員会にご連絡下さい。あまりお待たせしない形で、本誌の編集方針からみて掲載の可能性があるかどうかを判断させて頂き、可能性のある場合には、掲載余地のある号の号番号と刊行予定時期をお伝えできると思ひます。お気軽にお問ひ合わせ下さい。

『現象と秩序』 投稿規定・執筆要領

『現象と秩序』編集委員会

2014年9月22日制定

1. 投稿資格

『現象と秩序』編集委員会委員本人およびその紹介者は、『現象と秩序』に投稿することができる。

2. 原稿の種類

1) 投稿する原稿の種類は、人文・社会科学及びそれらに関わる学際領域の原著論文、ショート・ペーパー、論文、解説・総説、研究ノート、調査報告、実践報告、インタビュー記録、シンポジウム記録、書評、その他編集委員会が適当と認めたものとする。

2) 区分の指定は編集委員会が行うものとする。

3. 査読

1) 原著論文及びショート・ペーパーは査読制とする。査読を希望する原稿については、投稿申込時にどちらの区分を希望するか明記すること。査読を経た論文については、雑誌表紙のタイトルおよび論文の最初のページに「査読論文」と明記する。

2) 査読は編集委員会が行う。

(1) 編集委員会委員による査読が望ましくない場合/困難な場合は、委員会委員以外に査読を依頼することがある。

(2) 投稿から査読結果を通知するまでの期間は最大1ヶ月とする。

(3) 本誌は紙版発行とWEB上掲載の両方の手段で学術的見解の公表をするWEB誌であり、したがって、随時投稿が可能である。投稿者は、査読結果が「要修正」となった場合には、必要な修正を行ったうえで2ヶ月以内に再投稿する。再投稿された原稿については、編集委員会が採否を決定し、投稿者に連絡がなされる。採用された場合は、執筆要領にしたがって電子ファイルによる完

全原稿を作成し、編集委員会（当面は、〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学内榎田研究室, Kashida.yoshio@nifty.com）宛に、提出しなければならない。

4. 発行

冊子での発行は年1回、10月の発行を原則とする。編集委員会が形式要件を確認した日をもって原稿受理年月日とする。電子媒体による完全原稿は随時受け付け、受理されたものについては、随時ホームページ上で公開する。投稿者は投稿論文等がWEB上で公開されることを予め承認すること。

5. 執筆要領

1)原稿は邦文、欧文のいずれでもよい（いずれも、横書きのみ）。

2)電子ファイルによる完全原稿は以下の様式に従って作成する。

3)原稿はMicrosoft Wordで作成すること。

4)原稿はA4サイズとする。余白は横組みの場合は、上35mm、下30mm、左右それぞれ30mmとすること。

5)図表および写真はできるだけ論文の本文中に挿入する。

6)字体、字の大きさ、段落は以下に従って作成すること。

（英語論文の場合）

タイトル：英語のタイトルはTimes系フォント、16ポイント、太字。

サブタイトル：タイトルに準じるが字数によっては、フォントを12ポイント程度にまで小さくしてもよい。

著者名：Times系フォント、12ポイント、太字。

所属：Times系フォント、11ポイント。また、Corresponding authorが分かるようにしたうえで、メールアドレスも付記すること。

Abstract : Times 系フォント, 11 ポイント.

Key Words : Times 系フォントでサイズ 11 ポイント, イタリック.

本文, 引用文献 : 1 段組み. Times 系フォント, 11 ポイント. 1 頁の行数は 36 行程度.

(日本語論文の場合)

表題 : 日本語のタイトルはゴシック体フォント, 16 ポイント.

副題 : 表題に準じるが, 字数によっては, 12 ポイント程度にまで字を小さくすることができる.

著者名 : ゴシック体フォント, 12 ポイント. 所属 : 明朝体フォント, 11 ポイント. 責任著者が分かるようにしたうえで, メールアドレスも付記すること.

英語によるタイトル, 著者名, 所属, Key Words : 所属の次に英語によるタイトル, 著者名, 所属, Key Words を入れる. 体裁は上記英語論文と同じ.

本文, 参考文献, 註 : 1 段組み. 小見出しはゴシック体, 10.5 ポイント. 本文は, 明朝体フォント, 10.5 ポイント. 1 頁の行数は 36 行程度. 字数は 40 字程度.

6. 経費

当面は発行者が負担する. PC からのプリンター出力可能な完全原稿を提出しない者は, 版下作成にかかる経費の負担をお願いする場合がある. 抜き刷りの提供はないが, 執筆部分の PDF ファイルが提供される.

【編集後記】

『現象と秩序』創刊号をお届けします。

本誌は、2012年にWEB雑誌として構想され、本年になって環境が整い創刊に至ったものです。

発行形態としては、WEB雑誌としてだけでは、まだ十分読まれないだろうという判断から、同一のものを紙版とオンラインジャーナルの両方でしばらく発行していくことになりました。

ご愛読いただければ、さいわいです。

次号からは、連載企画も始める予定です。ご意見・ご要望は、下記発行所メールアドレスで承っております。どうぞなんなりとお寄せ下さい。

(Y. K.)

『現象と秩序』編集委員会（2014年度）

編集委員

檜田美雄（神戸市看護大学）

中塚朋子（就実大学）

堀田裕子（愛知学泉大学）

編集幹事

城野真衣（神戸市外国語大学）

『現象と秩序』第1号

2014年 10月31日発行

発行所 〒651-2103

神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学 檜田研究室内 現象と秩序企画編集室

電話・FAX) 078-794-8074 (ダイヤルイン)

e-mail: kashida.yoshio@nifty.ne.jp

ISSN（製本版） : 2188-9848

ISSN(オンラインジャーナル): 2188-9856 *現在のWEB版は20141208誤植訂正版

*製本版と頁水準の異同はありません。

<http://kashida-yoshio.com/gensho/gensho.html>